

もくじ

戸ノロぜきは、人々のくらしをどのように変えたのでしょうか。
戸ノロぜきができてからふえた家の数(「会津の堰」より)
(単位:けん)

村名	1623年 より前	1809年
はったの 八田野	20	66
うるしざわ 漆沢	0	21
とうかはら 稻荷原	0	15
なまい 生井	0	8
かみながはら 上長原	0	25
計	20	135

⑤戸ノロぜきと人々のくらしの変化



「戸ノロぜきができて、人々のくらしは

どのように変わったのかなあ。」と春男君が言いました。



「水田がたくさんふえて、米もたくさんとれたと

思うわ。」



「くらしやすくなって住む人もふえたのではないかなあ。」そこで、先生は、左の表と下の地図を見せてくださいました。みんなは、調べてわかったことを話し合いました。



「家が、ふえただけでなく、新しい村もできたんだね。」



「戸ノロぜきの水は、会津若松市のほかの町や村の水田にも使われているのね。」

戸ノロぜきと水田の分布
(戸ノロ堰土地改良区全図により)



田の広がり方

